

令和2年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(前期日程)

小論文

(地域学部 地域学科 地域創造コース)

(注意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題は4ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙（横書き）に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

【問題】

次の文章は、衰退する地方都市について小樽市の事例を検討した論文の一部である。
この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPでは公表しておりません。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPでは公表しておりません。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPでは公表しておりません。

出典：江頭進「衰退する地方都市とコモンズー北海道小樽市を事例として」（待鳥聡史・宇野重規編著『社会のなかのコモンズ 公共性を超えて』白水社、2019年、88-91頁）

※ 原則として漢数字はアラビア数字に変更した。また、脚注は省略した。

【問 1】

小樽市において「小樽雪あかりの路」がどのような役割を果たしているか。筆者の考えをまとめて300字以内で述べなさい。

【問 2】

観光客を呼び込むような祭りやイベントではなく、地域におけるネットワークを再生するには、どのような活動があるか考えなさい。その具体例を示すとともに、その活動が地域にどのような変化をもたらしながら地域のネットワークを再生しているのかを800字以内で述べなさい。